



発行 船橋市野球協会少年学童部

大会規程等の改正

「大会規程」及び「大会特別規則」一部改正がありました。主な改正点は以下のとおりです。なお詳細については、ホームページ並びに平成二五年度の「要覧」をご覧ください。

試合時間は一時間三〇分

捕手のファールカップ着用義務(女子を除く)

リストバンドの禁止

準決勝戦は時間の制限を適用

決勝戦で七回均等回終了後、二時間を越えた場合新しい回に入らない

また、低学年大会特別規則は「大会規程」及び

「大会特別規則」統合し、廃止することになりました。

二五年新年会

平成二五年の学童部新年会が、一月十九日(土)フローラ西船において開催されました。上原西部支部長の開会の言葉に続き、河崎理事長、大沢野球協会会長、来賓の松戸船橋市副市長、石毛船橋市教育委員会教育長の挨拶がありました。斉藤学童部顧問による乾杯のあと、懇親に入りました。

昨年、若松球場の改修工事が終了し、また、新装された高瀬グラウンドが完成したことにより、千

河崎理事長挨拶

各チーム、新しい年を迎えられ、今年こそ優勝目指して一生懸命練習に頑張っていることと思います。寒い時期に練習をして体力をつけておれば春先より素晴らしい試合が出来ると思います。各コーチの皆様は健康に十二分に注意され、子ども達は怪我のないように注意してほしいと思います。

昨年は、高瀬グラウンドが新装オープンし、各チームの皆様のご協力により船橋大会はもとより、県大会、東葛親善大会、東武鉄道杯、関東女子交流大会等十分な力を発揮し、船橋の強さを十二分に見せてくれました。一方、少子化、また、校外活動の多様化により、野球人口が減少する中、学童部はもちろん各チームの皆様は大変なご苦労をされたと思います。これから色々あるかもしれませんが、ご協力のほど、お願い申し上げます。今年も各チームのますますの活躍を期待いたします。

葉県少年野球大会(千葉日報杯)等の会場として活用できたことは大変喜ばしいことで、今後も学童部がより大きく飛躍できるような...との話がありました。

第三五回 新人大会

江藤省三杯争奪第三十五回船橋市少年野球大会新人戦は、三十五チームが参加し、九月十六日法典コンドル石崎創大主将の選手宣誓が響き渡る高瀬グラウンドで開催され、約二カ月に及ぶ戦いの火蓋をきった。

決勝戦は、十一月十一日、本大会後援者である慶應義塾大学野球部江藤省三監督をお迎えし、運動公園野球場で行われた。決勝は、準決勝で昨年度の低学年大会(ロッテ旗大会)で優勝した習志野台ワンパクスが夏見台アタックスを、西習志野グリーンファイターが西船ウイングスをそれぞれ下し、東部支部同士の戦

いとなった。

試合は、先攻のワンパクスが三回に、九番鈴木君の左翼前ヒット、盗塁で二塁に、そこで一番主将大竹君、見事右中間にタイムリーヒットで先取点。五回には、七番菅谷君の四球を足がかりに、エラー、ボークを誘いチャンスを広げ、またしても一番大竹君、中堅前にタイムリーヒットで三塁目。一方、グリーンファイターも塁には出るも、好守に阻まれ得点できず、チャンスは六回裏、八番谷君の右翼線をライナーで抜く本塁打で反撃開始と思われたが、重黒木君と北村君の継投に抑えられ無得点。結果は三対一でワンパクスが勝利し、二年振り三回目の優勝を飾った。



た。

ワンパクス野田監督は、勝因として、守りを中心とした練習の成果を子供たちが実行してくれたことをあげた。大竹主将も来年の春の大会に勝ち、全国大会に必ず出場したいと抱負を語ってくれた。一方グリーンファイターの大木監督は、相手に隙がなかった、来年は是非リベンジしたいと話してくれた。

決勝戦終了後、直ちに表彰式が行われ、優勝した習志野台ワンパクスに江藤省三杯が本人より授与された。なお、準優勝は西習志野グリーンファイター、第三位は西船ウイングス、夏見台アタックスでした。



第二〇回低学年大会

七月二十九日に第二十回船橋市少年学童野球低学年大会は船橋市特定郵便局(かんぽ健康増進支援)の後援により、二和タイガース谷内慎之介主将の力強い選手宣誓で三十四チームが参加、開会式が開催された。

八月二六日に準決勝が行われ、薬田台リトルスターが五対二で夏見台アタックスを破り、また、ホワイトビーストロングが海神スパローズをサドンの末五対四で破り、決勝戦は、九月二日に豊富グラウンドで行われた。

ホワイトビーストロング

001203
000000

薬田台リトルスター

試合は、一、二回両チームファインプレーが出るなど、両エースの投げ合いとなったが、

先取点は三回、ホワイトビーの攻撃、九番佐藤君が粘ってファールボールで出塁、二番渡辺君が左翼前ヒットでチャンスをつかみ、相手のバッテリーエラーで一点を先取。続

く四回も六番河野君の右翼前ヒット、七番市川君のバントヒットでチャンスを掴み、相手のエラーを誘い二点の追加点を挙げた。薬田台の最終回の攻撃も三者凡退。石塚君・大柴君の完封リレーより、三対〇でホワイトビーストロングが九年振り二回目の優勝を飾った。

ホワイトビーの石田監督は、子供たちが良く守りきってくれたと、「守りを勝因に上げ、試合を重ねるうちに、子供たちの動きが良くなってきたと話してくれた。

薬田台の末水監督は、選手たちは良くやってくれた。ただ決勝戦は緊張した様で、普段の守りが



出来なかったと答えてくれた。なお、決勝戦に進んだ二チームは一〇月に行われた千葉県少年学童野球低学年大会(ロッテ旗杯)に出場した。



秋季大会

第三十七回船橋市秋季市民大会学童の部は各支部予選を勝ち抜いた十四チームが参加し、十月八日に西習志野グリーンファイター杉浦功土主将の選手宣誓のもと開催された。決勝戦は、十一月十一日に運動公園球場で行われ、今年夏季大会を制した習志野台ワンパクズ対昨年新人戦を制した三山スワローズとなった。試合は、ワンパクズの

先攻で始まり、初回2死満塁とスワローズを攻めるも、三塁平内君のファインプレーで得点できず。その後もお互い塁に出るも、攻守に阻まれ無得点。手に汗を握る投手戦となり、昨年と同じく延長戦に入った。八回裏、スワローズの攻撃一死後、一番主将吉岡君、期待に答え中堅オーバーの三塁打。ワンパクズは二者を敬遠し満塁策を採り四番平本と対戦、見事左翼前に跳ね返すサヨナラヒット、三山スワローズが初優勝を飾った。

スワローズ織戸監督は、勝因として、投手が良く投げってくれたこと、子供たちに勢いがあつたことを挙げた。吉岡主将も、皆の声が良く出ていた、本心に打ててよかったと笑顔で答えてくれた。

昨年同様、八回裏満塁策を採りサヨナラ負けを喫してしまったワンパクズの六反監督代理は、初回のチャンスがすべてと悔しがったが、子供たちの健闘に感謝したいと話してくれた。なお、準優勝は習志野台ワンパクズ、第三位は西習志野グリーンファイ

ター、西海ドラゴンズでした。



支部対抗

ゲーム押しの三点を得点し、西部支部の圧勝となり、二二年度に続く連覇となった。南部支部は四位が定位置であったが、見事最下位脱出の準優勝。三位争いは、東部が三回に五点を先取、逃げ切りかと思われたが、北部は五回に三点を返し、六に一点、七回にも一点を返し追いつき引き分けとなり、三位は東部支部、北部支部の二チームとなった。

昨年雨の為中止となつた学童部最後の行事支部対抗戦が若松球場で行われた。昨夜からの雨で今年も開催が危ぶまれましたが、朝から快晴となり、グラウンドの整備で一時間ほど遅れての試合開始となった。第一試合は、東部対西部、南部対北部の対戦となり、熱戦が繰り広げられ、西部は東部に十一対二で大勝し、南部は北部に五対二で勝利した。

決勝戦は、西部が巧みな継投により強烈南部打線を零封、一方打線は二回に二点を先取、六回に三点を追加点、七回には



第十一回千葉県少年野球連盟 地域対抗六年生選抜大会

惜しくも連覇逃す

第十一回地域対抗六年生選抜大会において船橋地域選抜チームは、惜しくも連覇を逃し第三位となった。

県内一五地域から一六チーム(千葉市二チーム)が参加し、一二月一日(土)にマリンスフィールドで開会式が行われ、大会は一、二日の二日間で、マリンを始め、船橋高瀬球場ほか四会場で戦いが繰り広げられた。

船橋地域選抜は、第一戦、マリンでの開会式終了後、かずさ地域選抜と対戦、序盤五点リードするが、追加点がないまま後半四点を許すなど、初戦ということで攻守に固さがみられたが、五対四で勝利した。

二回戦は、同じマリンで印旛地域選抜を九対二で破った北総地域選抜と対戦、投手陣が要所々を締める中、六回に相手チームの隙を見て二点を取って逃げ切り、三年連続で準決勝進出を決めた。

準決勝は二日九時より、一回戦葛南地域選抜を二対〇で、二回戦千葉地域選抜Aを二対〇で勝ちあがった柏地域選抜と、昨日に続きマリンスフィールドでの戦いとなった。

初回、一点を先取されるも、三回、八番中堅竹内君のセンター前ヒットと一番遊撃平内君の右中間ヒットで同点とし、四回には、三番捕手角田君の左中間を破るホームランで一点のリードしたが、五回に同点を許し、六回には相手打線に捕まり三点を奪われ、二対五で敗れたものの、短い準備期間の中で、三年連続のベスト四進出は見事であった。

船橋市地域対抗6年生選抜メンバー

背番号	選手	チーム
10	六反浩人	習志野台ワンパクス
1	深谷友輔	西習志野グリーンファイターズ
2	阿部友哉	小室ライオンズ
3	吉岡和輝	三山スワローズ
4	周村憲汰	田喜野井ファイターズ
5	竹内海人	習志野台ワンパクス
6	佐藤秀俊	小栗原ベアーズ
7	山本源	ツインドルフィンズ
8	平内達也	三山スワローズ
9	橋本和音	ツインドルフィンズ
11	伏島駿平	藤上ディアーズ
12	西村皇紀	習志野台ワンパクス
13	角田大樹	夏見台アタックス
14	内山貴斗	夏見台アタックス
15	宮崎紘	夏見台アタックス
16	藤井颯生	藤上ディアーズ
17	西川洸輝	法典コンドル
18	門馬陸斗	坪井パンデッツ
19	北村慶人	習志野台ワンパクス
20	渡辺魁州	金杉台ジュニアシーダース

代表監督 山田宣昭
コーチ 野田昌克
コーチ 中井勝行
スコアラー 伏島良平
介護員 竹内実美
反友美



日八△杯 関東学童秋季大会

十月六日に関東学童秋季千葉県大会が富里公園野球場にて千葉県内十六チームが参加して行われた。

船橋市の代表は、Bリーグ春季大会で優勝した習志野台ワンパクスが出場した。

初戦、穴川タイガース(千葉市代表)に八対一で勝利し幸先よいスタートをきったが、二回戦、ニューラッキーズ(葛南代表)に二対三で敗れた。

決勝戦は、ニューラッキーズが高野台ジャガーズ(柏代表)に七対〇で圧勝、見事優勝を飾った。

千葉県少年野球低学年大会(ロッテ旗争奪)

ホワイトピーストロングの優勝で船橋代表二連覇

十月八日に千葉県少年野球低学年大会が大谷津野球場で三二チームが参加して行われた。

船橋市代表は、船橋市低学年大会で優勝のホワイトピーストロングと準優勝薬田台リトルスターの二チームが参加した。

決勝戦は、大会史上初の船橋市の代表二チームが戦うこととなり、船橋大会同様に九対六でホワイトピーストロングが勝利初優勝を飾った。昨年の習志野台ワンパクスの優勝に続き船橋市が二連覇を達成した。薬田台リトルスターは惜しくも雪辱を晴らすことが出来なかった。

なお、三位は同じ八千代代表のキングファイターズと新木戸ヤングミヤコシが入った。



ろっきん旗争奪戦

船橋勢の奮闘... 二チーム準決勝へ

十月二十日市原臨海球場において、六四チームが参加して少年野球千葉県選手権大会(ろっきん旗争奪戦)が開催された。

船橋代表は、夏季大会優勝の習志野台ワンパクス、準優勝の夏見台アタックス、三位のツインドルフィンズ、西習志野グリーンファイターズの四チームが参加した。

大会は船橋高瀬球場初め十四会場で行われ、決勝は十一月四日に成田ナスパ・スタジアムで、磯部シャークス(千葉代表)と豊海マリナーズ(九十九代表)の間で行われ、八対〇で磯部シャークスが初優勝を飾った。

船橋代表の習志野台ワンパクス、夏見台アタックスは共に三位、ツインドルフィンズは三回戦、西習志野グリーンファイターズは二回戦で敗退したが、準決勝に二チームが残るなど船橋勢の活躍が目立った大会であった。

地域大会

東葛地区秋季大会

第三十五回東葛地区少年野球大会(秋季)は九月十チームが参加し松戸市紙敷スポーツ広場で、十一月十一、十二日に開催された。

船橋を代表して、船橋市夏季大会で優勝した習志野台ワンパクスに、準々決勝で敗れた塚田クラブが参加、惜しくも準決勝で、市川市の稲荷木イーグルスに〇対二で敗れたが第三位に入賞した。

決勝戦は松戸市の北初富セブンスターズが稲荷木イーグルスを一対〇で破り初優勝を飾った。

五市親善少年野球大会

平成二四年度五市(我孫子・市川・浦安・鎌ヶ谷・船橋)親善野球大会は、各市二チームの合計一〇チームが参加して、船橋市の若松、高瀬の各球場において十月十三、十四日にわたり行われた。今年度は船橋市の代表

として、南部支部選抜(船橋A)、西部支部選抜(船橋B)の二チームが参加した。

抽選の結果、両チームとも一回戦はシードで、船橋Aは、二回戦に浦安Bと対戦し、四対九で敗れた。

一方、船橋Bは二回戦市川Bに七対六で勝利、続く準決勝で鎌ヶ谷Aを八対四で破り決勝戦へ進んだ。

決勝戦は、市川Aと対戦、惜しくも四対五で敗れ、船橋市の四年ぶりの優勝を逃したが見事準優勝を飾った。

東武鉄道杯野田線沿線大会

九月二九日平成二四年度

の東武鉄道杯野田沿線少年野球大会は三二チームの参加により野田市営球場でナイター(十八時)による開会式が行われた。

船橋市からは、Bリーグ春季大会の成績で選ばれた、葉円台リトルスター、西船ウイングス、法典コンドル、夏見パワーズの四チームが参加した。大会は、三〇日より東西ブロックで進められ、

東部ブロックは豊上ジュニアーズ(柏市)が、西部ブロックは東部フェニックス(野田市)がそれぞれブロック優勝し、この二チームで決勝戦が行われ、九対二で豊上ジュニアーズが見事初優勝を飾った。

船橋市代表の各チームの成績は、葉円台リトルスター、西船ウイングスが初戦敗退、法典コンドル、夏見パワーズは二回戦で敗退したが、まだ五年生、来年の健闘を期待したい



野球教室・指導者講習会

ドコモ野球教室

平成二四年度、恒例の(株)NTTドコモ主催によるNTTドコモ野球教室が高瀬グラウンドで三月三日(日)に開催された。今回もNTT東日本野球部佐藤監督をはじめ、

NTT東日本野球部の指導者及び選手二二名、また、特別コーチとして元西武ライオンズの石毛宏典さんがまだ寒さが厳しい中、予定の時間を超過してまで熱心に指導してくれた。参加者は船橋市学童部三五チーム、子供約三五〇名、大人一五〇名の五〇〇名を超える参加がありました。最後に、船橋市を代表して、二和タイガースの辻原颯人君がお礼の言葉を述べて終了した。

東京キッズベースボールアカデミー

恒例となった、東京新聞・東京中日スポーツの主催による「東京キッズベースボールアカデミー野球教室」が、船橋グラスポ球場で、二月三日(土)に開催された。この野球教室は、新四、五年生を対象とし、大人と一緒に指導を受けることができるということで二〇〇名を超える参加となった。

講師には、元プロ野球選手で元中日の田野倉選手、元巨人の佐藤選手、元西武の松沼選手、元ヤクルトの大川選手の四選

手が担当し、内野、外野投手、捕手と四ブロックに分かれ具体的な指導を受けた後、個々にバッティングの指導も受けた。最後に田野倉選手より、相手の目を見て話を聞き、大きな声で挨拶することが、何よりも大切であるとまとめていただき、選手全員で、大きな声で、お礼の挨拶をして四時間に迫る有意義な野球教室を終了した。

ロッテ野球教室

平成二五年一月二〇日(日)、レオガールズシリーズの協力の下、高瀬グラウンドにおいてロッテ野球教室が開催された。

講師はパリーグの首位打者を取ったことのある、元千葉ロッテマリーンズの平井氏、高田氏の二名。野球教室は挨拶後、投げ方、守備(内野、外野)、打撃と基本を中心とし、今までにない細かい所までの指導受け、子供たちも大きな声を出し、目を輝かせていた。

指導者講習会

投球障害予防教室
二月一六日(土) 船橋

市運動公園管理事務所会議室において、千葉県理学療法士会スポーツ健康増進支援部主催による「投球障害予防教室」が開催され、学童部所属チームの選手六二名、指導者六〇名の参加があった。

講師には、千葉大学整形外科木島先生、船橋整形外科病院高村先生をお迎えし、約三時間にわたり、肩、肘における「投球障害」や、肩、肘、下半身、体幹、筋力、パランスの投球体操等について詳細な説明がされた。

また、子供たち全員が超音波による肘の診断を受けたほか、理学療法士のメンパーから、直接、身体の柔軟性や身体機能のチェック、またその改善方法等についての指導を受けた。子供たちは、自分の良いところ、悪いところがわかり、これから、良いところは伸ばし、悪いところは、毎日のトレーニングのとき注意しながら良くなるようにしていきたいと笑顔で話してくれた。

質疑応答では、指導者から活発な質問があり大変有意義な講習会となりました。